

第25回 「なぜなぜ分析」ワンポイント応用編

ここでは、拙著の本に紹介していない応用編について、紹介したいと思います。（ただし、いつか活字になるかも(?)しれません。お約束できませんが……）

あわせて、「なぜなぜ分析」の基本については、ぜひ当社ホームページ、インフォメーションに記載の書籍等をご覧ください。

2007年 1月 13日

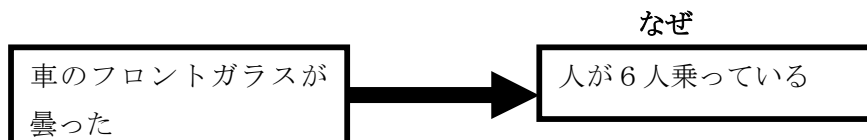
有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉 仁志

jin-ogura@management-dynamics.co.jp

物事のつながりを意識して「なぜなぜ分析」を！（パート2）

以下は、拙著「なぜなぜ分析徹底攻略ドリル」(JIPMソリューション刊)の中の問題のひとつですが、この「なぜ」のつながりを見て、皆さんはどう思われますか。



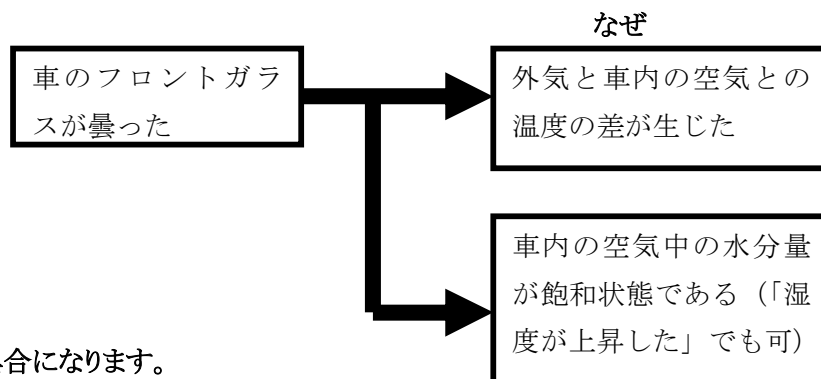
一見良さそうに思いますが、すでにこの段階で話が飛んでいるので、「なぜなぜ分析」としては失格となります。

なぜかという、これは物事のつながりを無視した展開になっています。

改めて考えてみれば当たり前のことですが、フロントガラスに接しているのは人間ではなく、空気です。（フロントガラスに人間が張り付いているのであれば、これでも構いませんが）

したがって、曇る原因として、まず空気に関することを挙げておかなければなりません。

つまり、



という具合になります。

設備や作業のトラブルを分析する場合でも同じで、決してつながりを見落とさず「なぜ」を展開することが緻密な分析につながり、これにより今までたどり着けなかった複数の原因を探り当てることができるのです。

以上